

令和8年度静岡県立池新田高等学校第1回学校運営協議会

1 日 時 令和8年5月12日(火) 10:00～12:00

2 会 場 静岡県立池新田高等学校会議室

3 日 程

- (1) 学校運営協議会委員の委嘱、日程確認等
- (2) 校内授業参観
- (3) 校長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 役員選出（会長・副会長の選出）
- (6) 議事（会長が議事進行を務める）
 - ア 学校の概要・学校経営方針について（校長）
 - イ 学校評価委員会の組織、令和7年度学校関係者評価について
 - ウ 令和7年度「行きたい学校づくり」推進事業報告（副校長）
 - エ 中学生向け学校説明の発表例（副校長）
 - オ 教育活動・生徒の状況について（教務課・進路課・生徒課）
 - カ 質疑応答、学校経営方針の承認
- (7) 諸連絡（副校長）、閉会

4 学校側参加者

河田純次（校長）
小澤昌通（副校長）
山口美知子（教頭）
松下里恵（事務長）
酒井純一（教務課長）
山本浩美（進路課長）
柳澤正人（生徒課長）

5 学校運営協議会委員（敬称略）

松本泰士（会長）	株式会社松本印刷 代表	2年目
伊藤有宏（副会長）	中部電力浜岡原子力発電所 総務部長	1年目
鈴木秀和	御前崎市立第一小学校 校長	2年目
古地隆	御前崎市立浜岡中学校 校長	1年目
山口浩司	令和8年度本校PTA会長	1年目

令和8年度第1回学校運営協議会 議事録（抜粋）

議事進行 松本会長

※鈴木委員は都合により欠席

校 長：学校の概要・学校経営方針の説明

生徒、職員すべてが和やかで心地よい生活を送ることができるということが大事である。地域に愛される、応援される開かれた学校づくりを進めていく。

教 頭：学校評価委員会の組織、学校関係者評価について説明

副校長：「行きたい学校づくり」推進事業報告

令和6年度から3年計画の事業の最終年度となる。これまでの取組をブラッシュアップして成果を出していきたい。探究学習を充実させ、地域に愛される学校であり続ける取組を行っていく。

副校長：中学生向け学校説明例

〈教育活動・生徒の状況について〉

教務課長：学習意欲の向上を推し進めていく。多様な進路に寄り添い、少人数での授業展開ができていく。教職員研修も充実させていく。

進路課長：進学6割、就職4割という状況で地元志向が強い。面接指導を全職員で行いサポートしていく。

生徒課長：チケット指導件数は減少しており、自立を促す指導を行っている。御前崎市立第一小学校の取組を参考にして全生徒のスクールカウンセラー面談を行う。

学校経営計画が承認された。

【委員からの意見】

松本委員：生徒から池高を志望した理由、入学して良かったところをリサーチし、ポジティブな要素だけではないところも具体的なヒントになる。成長できる学校というのが魅力の一つになる。

伊藤委員：教員の時間外在校時間について、労務管理が厳しくなってる状況で業務の削減をするのは大変だと思うが取組を進めてほしい。

古地委員：授業に意欲的に取り組んでいる生徒80%以上は、主体性を育む上で大切な指標である。中学校においても毎日の授業の積み重ねが重要であると指導している。授業に意欲的に取り組んでいる生徒が増えれば必然的に定期テストに取り組むことになる。

山口委員：池高に入学して成績も上がり部活動もがんばって成長できるというところ、他校との違いをアピールしていけば魅力が伝わる。受け入れてもらえることは安心に繋がる。